

広告が表示されただけでウイルスに感染！？

～ OSやソフトは常に最新の状態に！～



情報セキュリティ会社のトレンドマイクロ（東京都）によると、**ユーザが全く気付かないうちにパソコンがウイルスに感染してしまう被害が増加**しています。

原因のひとつが**不正広告**です。

不正広告とは、ネット広告を経由してユーザに攻撃を仕掛けウイルスを感染させたり、詐欺サイトなどに誘導したりするネット広告の仕組みを悪用した攻撃のことです。

この手口の怖いところは、広告をクリックしたり、ダウンロードされたファイルを開いたりすることなく、**いつも見ている Web（ウェブ）サイトに、たまたま不正広告が表示されただけでウイルスに感染してしまう可能性がある**ことです。

表示される広告も、怪しいものではなく、正規の広告画像を悪用する場合があります、サイトに表示された内容では危険に全く気付かない点もやっかいです。

OSやソフトの脆弱性（弱点）を悪用し、**ネットバンキングを狙うウイルスや身代金要求ウイルスを送り込む不正広告がすでに多数確認**されています。

脆弱性が残ったままのパソコンで、普通にネットを見ていただけで、ネットバンキングの不正取引やパソコン上の重要なデータを暗号化してしまう深刻なウイルスにいつの間にか感染してしまうことがあるのです。

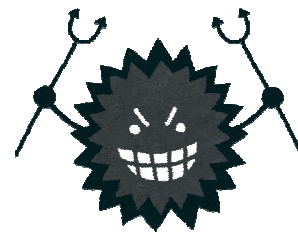
有効な対策は、OSやソフトを常に最新の状態に保つことです。

脆弱性対策が行われていれば、不正広告による脆弱性攻撃が無効なため、ウイルスに感染することはありません。

OSやソフトの開発元から更新プログラムが提供されたら、素早く適用し脆弱性を修正しましょう。

脆弱性攻撃やウイルス感染からパソコンを保護してくれるセキュリティソフトを入れ、常に最新の状態で使用することも重要です。

【本情報は、12月6日付け日刊県民福井新聞記事等を引用しています。】



本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通）メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ12月「一年をかえりみ、しあわせな家庭を喜ぼう」

「青少年育成の日」推進テーマ12月「一年をふり返り、感謝の気持ちを持とう」